

国際的素養を備え世界をリードする 濟々多士の育成



1 国際感覚を磨きます

身近な地域の課題に関する研究を進めながら、地球的視野で思考する態度や能力を身に付け、国際社会に生きる日本人としての自覚を育みます。

2 課題設定・解決力を身に付けます

現代社会が抱える問題や課題に対する強い関心を持ち、論理的思考や科学的思考に基づいて課題解決を図る力を養います。

3 コミュニケーション能力を高めます

英語や日本語で自分の考えを論理的に発信できる力を育てます。また、課題解決を目指して、当事者意識を持ち、他者と協働する力を身に付けます。

4 批判的思考と創造力の向上を図ります

あらゆる情報や他人の意見を無批判に受け容れたり、一方的に否定したりするのではなく、自分なりの疑問や課題意識を持ち、能動的に捉える思考習慣や態度を身に付けます。

活動例

1年生

- ◎リサーチ基礎
- ◎各種講演会・出張授業
- ◎夏季英語研修(海外留学生とのワークショップ)
- ◎アジア交流プログラム
- ◎SAP(インターンシップ)
- ◎フィールドワーク
- ◎課題研究:ビジネスプラン作成など(グループ)
- ◎修学旅行での探究活動(スタディツアー)
- ◎濟々未来探究成果発表会

※SAP・夏季英語研修・アジア交流プログラムは希望者対象です。

2年生

- ◎リサーチ基礎
- ◎各種講演会・出張授業
- ◎職員ゼミ(課題研究に向かう力を養成)
- ◎海外研修(海外へのフィールドトリップ)
- ◎アジア交流プログラム
- ◎フィールドワーク
- ◎課題研究(個人)
- ◎研究論文作成
- ◎濟々未来探究成果発表会

※海外研修・アジア交流プログラムは希望者対象です。

校外研修・発表会等

- ◎京都大学ポスターセッション
- ◎高校生国際シンポジウム(Glocal Academy主催)
- ◎九州大学アカデミックフェスティバル
- ◎熊本スーパーハイスクール(KSH)発表会
- ◎大阪大学Future Global Leaders Camp
- ◎大阪大学大学院国際公共政策コンファレンス など

